

ID Plus: DS100 Authenticator

セキュアで多機能なハードウェアトークン

特徴

- 多機能認証トークン
- ネット接続時も非接続時も認証可能
- クラウド対応、効率的で高い費用対効果
- FIDO2とOTP に対応
- FIDO2パスワードレス認証
- セルフシードで配布可能なトークン
- OTPはシンプルにボタンを押すだけ
- LCDディスプレイのOTP
- ユーザーがアップグレードできるファームウェア

DS100は、パスワードレスの多機能セキュリティソリューションで、ユーザーエクスペリエンスを劇的に向上させるとともに、組織全体のコストを削減することができます。DS100 は、FIDOプロトコルの暗号化と、RSAが長年デファクトスタンダードとなっているワンタイムパスワード（OTP）ソリューションのセキュリティの利点を組み合わせた、初のクラウド対応した多機能認証装置（ハードウェアトークン）です。他の製品とは異なり、DS100はインターネット接続時でも非接続時でも動作するため、完璧で柔軟な認証ソリューションとなっています。

FIDO2とOTP認証を1台の端末で実現

DS100は、FIDO2認証とワンタイムパスワード認証の両方に対応しているため、複数の認証が必要となるような利用シーンにおいても、2種類の端末を管理することなく、対応することができます。

パスワードレスFIDO2認証

FIDO2認定製品であるDS100は、ハードウェア認証が望ましい、あるいは必要とされる環境において、安全で便利なFIDO2パスワードレス認証を実現します。USBプラグで簡単に接続でき、将来的にはNFC機能も搭載予定です。

OTP認証

USB接続ができない環境、またはユーザーがVPNに接続する必要がある場合、DS100は接続型および非接続型OTPログイン機能を提供します。DS100はOTPをLCDで表示し、プッシュボタンでOTPをリソースに自動入力します。



ダイナミックシード配布型OTP

OTPのダイナミックなシード配布で、DS100認証装置（ハードウェアトークン）の配布と管理のコストと複雑さを軽減します。各デバイスをあらかじめシード配布して受け取るのではなく、どのデバイスでもエンドユーザーに送ってセルフシード配布や登録をさせることができ、必要に応じて簡単に再割り当てすることができます。

ハードウェア認証機器の管理をクラウドで効率化

DS100は物理的に配置されていても、クラウド認証サービスを使ってクラウド上で管理されています。そのため、ハードウェア認証装置のすべての機能においてセキュリティを損なうことなく、管理効率を高めることが可能です。

便利で安全なエンドユーザーエクスペリエンス

FIDO2認証でもOTP認証でも、ユーザーは覚えにくい（そして悪意ある者に推測されやすい）従来のパスワード情報などに頼る必要はありません。FIDO2認証の場合はPIN情報の入力とボタンプッシュのみで認証し、OTP認証の場合においても、ボタンを押すだけでOTPコードを生成し自動入力されるため、ユーザーが手動でOTPを入力する必要がありません。

ハードウェアトークンのパイオニアから

RSAは、30年以上にわたり、認証技術の先駆者です。今日のRSAの認証システムは、最新の暗号化標準を活用した信頼性の高い設計で、最も困難な条件にも耐えうるよう構築され、厳格なテストが行われています。また、クラウドへの移行を安全にし、ゼロトラストの考え方を含んだサイバーセキュリティの取り組みをサポートします。



詳しくは

DS100の機能についての詳細は、こちらよりお問い合わせください。 rsa.com/ja/*

RSAについて

RSAは、世界中の12,000の組織に信頼できるアイデンティティ・アクセス管理を提供し、2,500万の企業アイデンティティを管理し、数百万のユーザーに安全で便利なアクセスを提供しています。RSAは、最新の認証、ライフサイクル管理、アイデンティティ・ガバナンスのための機能を完備し提供することで、組織がデジタル社会で成功するための支援を行います。クラウドでもオンプレミスでも、RSAは、生活、仕事、遊びのあらゆる場面で、人々が依存するデジタルリソースと人々とを結びつけています。詳しくはこちらをご覧ください。 [RSA.com/ja/](https://rsa.com/ja/)

*DS100 特許出願中